

基本データ

日時：2019/04/15 17:00-19:45

場所：京都教育大学 生協食堂

運営体制：

職員 2名 | 学生委員 8名 | その他組合員 7名

参加者数：42名(新入生)

目的/概要

春から下宿を始める新入生に向けて下宿に役立つ知識・情報を伝え、下宿に対する不安を和らげてもらいます。また、下宿中、困ったときなどに助け合うことのできる友達をつくる場を設けました。

コンテンツ

- ・アイスブレイク(20分)
- ・下宿生かるた(35分)
- ・夜ごはん(60分)
- ・パワポ上映(15分)
- ・ビンゴゲーム(30分)

01 下宿生あるあるで共感

かるたをしながら下宿生活をイメージ

ひとり暮らしならではの生活実態、悩みなどはいろいろありますよね。特に春から下宿を始める新入生にとって、他の人はどんな生活をしているのかは気になるもの。この企画では、下宿生あるあるが書かれたかるたでアイスブレイクを行いました！一人暮らしのことを楽しくいろいろ知ることができて参加者も喜んでいました。



「下宿生あるあるを話せてよかった」という声。同じような経験を共有できると楽しいですね！

02 下宿生の友達が増えるように工夫！

一緒にゲームしたりごはんを食べたり

5、6人で1つの班になっており、GLに一人暮らしの先輩が一人ずつ入っています。話しやすいように雰囲気づくりができており、どの班も会話が弾んで盛り上がっていました。一人暮らしだと生活面で自分が考えて行動しなければいけない場面が増えます。ですが、近くに知り合いが住んでいることが分かっていると、いざという時にたすけあえるし安心かもしれませんね！



マンションや最寄り駅が同じ人が班になっています。繋がりを作ったり情報を得たりしやすい工夫です◎

03 生活に寄り添う生協らしさです

景品は一人暮らしで役立つもの

かるたやビンゴゲームの景品は、洗剤やエコバッグなど日常生活で使いやすいものが用意されていました。一人暮らしではこういうものを使えばいいんだ、という参考にもなりますね！下宿生の生活に合わせて考えられた工夫、これって「大学生生活」協同組合らしいと思いませんか？



会場はとても盛り上がっていました！新入生がみんな笑顔で帰っていたのが印象的でした。